

国際シンポジウム

「サイバーセキュリティガバナンス：挑戦と可能性」のご案内

この度、日本国際フォーラムは、5月26日（金）に下記要領にて名古屋大学大学院国際開発研究科及び英国国際法比較法研究所(BIICL)と共催で、国際シンポジウム「サイバーセキュリティガバナンス：挑戦と可能性」を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

第4次産業革命におけるICTの新たな進展は世界を多次元に結びつけ、政治・経済・社会のあらゆる分野で必要不可欠なインフラを構成するようになってきています。しかしその一方で、国境を越えたサイバーセキュリティの脅威がもたらす課題に対し、国際法は十分な解決を提示していないのが現状です。サイバーセキュリティをめぐる国際的「分断」の現状とこれが引き起こすさまざまな問題、グローバルなサイバーセキュリティガバナンスの構築に向けた障壁と課題、これに対する民間部門の役割、サイバー分野のキャパシティ・ビルディングの取り組みと課題について、日本、米国、欧州の国際関係学、国際政治学、国際法学分野の研究者が、世界銀行及びNGOの専門家との対話を加えて議論します。

なお、本シンポジウムは、2023年秋にケンブリッジ大学出版会より刊行予定の書籍『Public and Private Governance of Cybersecurity: Challenges and Potential』の内容を踏まえて対面とオンラインのハイブリッド形式で実施するものであり、その執筆陣が登壇します。

当日は、「日本のインターネットの父」と呼ばれる村井純慶應義塾大学教授を基調講演にお迎えし、セッション1では藤原帰一東京大学名誉教授の司会の下、ポール・ネドー（テンプル大学）、伊藤和歌子（JFIR）、イアン・テナント／サマー・ウォーカー（Global Initiative Against Transnational Organized Crime）*、マヘシュ・ウッタムチャンダニ／バートラム・ボワイエ（世界銀行）*が、セッション2では横溝大名古屋大学教授の司会の下、ヤンス・ポール（マーストリヒト大学）、アレクサンダー・カリッシュ（キングス・カレッジ・ロンドン）、石川知子（名古屋大学）、ヤリック・クリボイ（英国国際法比較法研究所）が登壇します。

*：オンライン参加

記

1. 日時：2023年5月26日（金）13：30－17：30
2. 開催形式：対面とオンライン（Zoomウェビナー）のハイブリッド
3. 開催場所：国際文化会館「講堂」
[所在地] 東京都港区六本木5-11-16
[アクセス] <https://www.i-house.or.jp/access.html>
4. 参加費：無料
5. 使用言語：日本語と英語（日英同時通訳）
6. プログラム：https://www.jfir.or.jp/23public/0526_pgm
7. 申込方法：以下のバナーをクリックして5月24日（水）正午までにお申し込み下さい。
オンライン参加申込者には、前日までのZoomURLをお送りします。
対面でのお申込みについては、定員に達し次第締め切らせていただきます。

お申し込みはこちら